



横浜市立恩田小学校 学校だより 10月号

発行 令和2年9月30日

恩田小学校学校 HP
QRコード



「 笑 顔 」

副校長 齋藤 千枝

私は、笑うこと、そして笑顔が大好きです。

ずっと前に、テレビでこんな赤ちゃんの観察を観たのを覚えています。

赤ちゃんとお母さんが向かい合っています。1回目は、お母さんが笑っています。すると、赤ちゃんも笑っています。お互いに、にこにこしています。2回目は、お母さんは笑わずに無表情に赤ちゃんを見ています・・・

すると、赤ちゃんは始めににこにこしていたのですが、笑わないお母さんを見て、不思議そうな顔から怪訝な顔になり、あっという間に泣いてしまいました。

この赤ちゃんの不思議そうな顔から怪訝な顔した表情の変化が「あれ？笑わないの？どうしたの？」「お母さんもほら、一緒に笑おうよ。笑わないのは嫌だよ。」とお母さんを心配するような、気遣うようなそして、最後は悲しくなってしまった表情をしたのがとても印象的でした。

言葉を発するずっと前の赤ちゃんが笑顔を求め、笑顔でコミュニケーションを取ろうとする人の本能的なものを感じました。

自分が笑うことも大好きですが、子どもたちの笑顔はもっと好きです。

私の一日の始まりは校門での「おはようございます。」のあいさつからです。私も子どもたちもマスクをつけながらですが、笑顔のあいさつは心が温かくなり「今日もがんばるぞ。」と元気をもらいます。

子どもたちが学習に取り組んでいるとき、なにかに夢中になっているときの「そうだ！」「わかった！」「できた！」等という言葉とともにこぼれる笑顔もとても輝いています。そして、友達のがんばったことや活躍したことを自分のことのように満面の笑みで喜ぶ子どもたちの姿を見ると、「なんてすてきな気持ちが育っているのだろう。」と心がとても温かくなります。人の喜びを自分のことのように喜び、気持ちを共有できることは、すばらしいことだと思います。

「恩田スポーツフェスティバル」という大きな行事がもうすぐあります。その成功に向けて活気づく恩田小学校の子どもたちの笑顔は、ますます自信に満ち生き生きと輝いているように感じます。新型コロナウイルス感染防止対策の中、様々な約束や制限がありながらも、子どもたちがたくましく育っている姿に、私たち職員は勇気や希望をもらっているような気がします。

「笑顔」は、気持ちを温かくするもの。自分が元気になったり、人を元気にしたりしてくれるもの。勇気や希望を与え、人とのかかわりをより深く結びつけてくれるもの。そして、できる喜び、達成感や充実感を表すもの・・・それが「笑顔」ではないでしょうか。

そんな、笑顔あふれる学校を職員と共にこれからもつくっていきたいと思います。